

# 資料編

1. 諮問および答申

坂企第 196 号  
令和6年6月14日

坂井市総合計画審議会 会長 様

坂井市長 池田 禎孝

第二次坂井市総合計画後期基本計画について（諮問）

坂井市まちづくり基本条例第15条の規定に基づき、第二次坂井市総合計画後期基本計画を策定するため、貴審議会の意見を求めます。

令和7年2月17日

坂井市長 池田 禎孝 様

坂井市総合計画審議会  
会長 桑原 美香

第二次坂井市総合計画後期基本計画について（答申）

令和6年6月14日付け坂企第196号で当審議会に諮問がありました標記について、慎重に審議を重ねた結果、別冊「第二次坂井市総合計画後期基本計画」のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、坂井市の将来像である「輝く未来へ…みんなで創る希望のまち ～子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～」の実現に向け、当計画に掲げる施策が着実に推進されることを強く希望し、別記事項の意見を添えて要請します。

別記

一、坂井市の将来像「輝く未来へ…みんなで創る希望のまち ～ 子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～」の実現に向け全施策に共通して大切にすべき視点として、新たに「幸せを実感できるまちづくりの視点」を追加しています。人口減少・高齢化社会の更なる進展が予測される中で、坂井市が持続的に発展を遂げるためには、住みよさを高めるだけでなく、市民が幸福を実感でき、住み続けたいとなるまちづくりを進めていくことも重要です。市民との対話を通して、共に坂井市民の幸せや坂井市の将来を考えていくことで、坂井市に暮らす全ての人の幸福感の向上に向け取り組んでいただきたい。

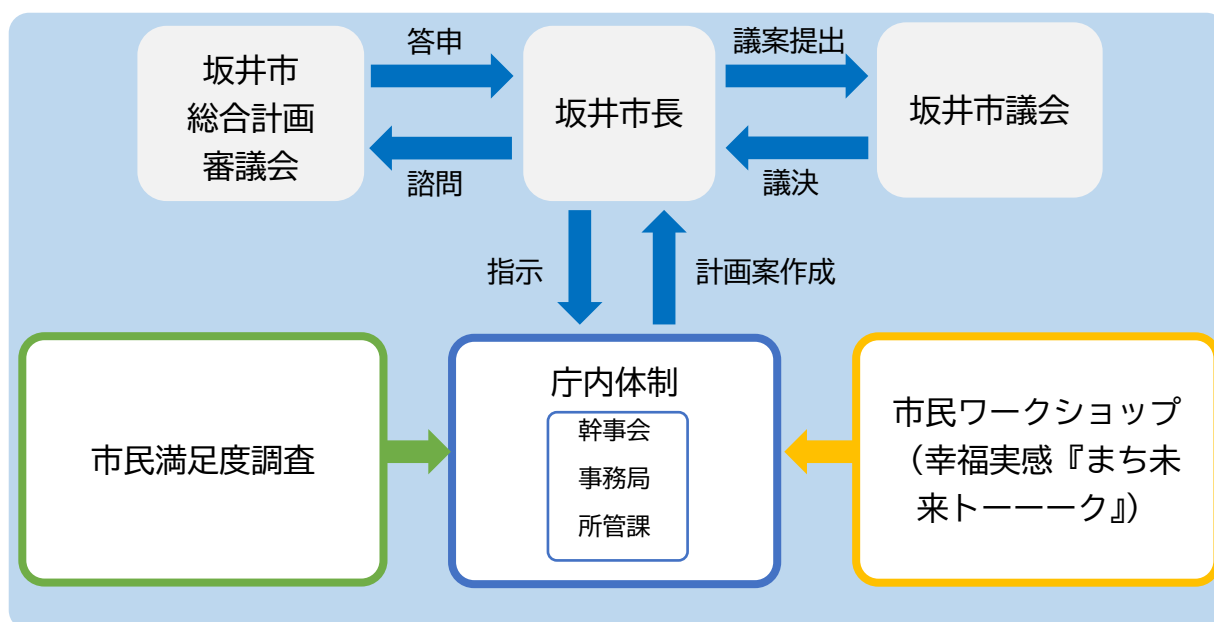
一、人口減少・少子高齢化は急速に進行しており、社会経済は先行きが不透明で予測が困難な時代にある中で、持続可能なまちづくりを進めるためにも市の将来像への達成状況を測る指標を検討する必要があります。後期基本計画の策定にあたって実施した市民満足度調査では地域幸福度を数値化していますが、総合計画の実施計画として位置付けている「総合戦略」においても、重要業績評価指標として市民の心の豊かさを測り検証していくことで、住みよさと幸福の実感できる施策の推進に取り組んでいただきたい。

一、都市化の進展や核家族化、就労形態の変化等により、人々のライフスタイルや価値観が多様化しています。市民一人ひとりが主役となってまちづくりを進めるためには、こうした社会の多様化が進む中でも、それぞれがお互いの違いを受け入れ、認め合い、共感できる地域共生社会を構築していくことが重要です。性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、多様な他者への理解促進と多様性が認められ、一人ひとりが活躍することができる坂井市を目指していただきたい。

一、令和2年以來の新型コロナウイルス感染症の拡大で、市民は未曾有の危機に直面し暮らしに様々な制約を受けました。そのような中、当たり前だと思っていた明るい暮らしを取り戻すため、変化に対応することで乗り越えてきました。こうしたコロナ禍の経験を踏まえ、これから先の変化が激しく、不確実な世の中にあっても、リスクや環境変化に的確に対応し、持続可能な地域社会を築いていく必要があります。多様化・複雑化し、激動する様々な社会の変化や直面する諸問題に、素早く柔軟に対応できるまちづくりを進めていただきたい。

## 2. 策定体制

## 2-1. 策定体制



## 2-2. 総合計画審議会委員名簿

(敬称略、五十音順)

	所属	職名	氏名	備考
1	さかい男女共同参画ネットワーク	会長	赤土 美代子	
2	坂井市消費者団体連絡協議会	理事	五十嵐 美千代	
3	坂井市PTA連合会	顧問	一瀬 京子	
4	福井県立大学	教授	桑原 美香	会長
5	福井県農業協同組合	理事	小寺 洋一	
6	坂井市赤十字奉仕団	委員長	定池 りゆ子	
7	福井労働局三国公共職業安定所	所長	佐藤 大介	
8	坂井市民生児童委員協議会連合会	会長	清水 秀治	
9	坂井市社会福祉協議会	会長	関 輝勝	
10	福井大学	准教授	田中 志敬	
11	一般社団法人DMOさかい観光局	代表理事	刀根 亨	
12	坂井市自治会連合会	会長	中垣内 正治	
13	テクノポート福井企業協議会	副会長	畑 正博	
14	坂井市商工会	会長	半澤 政文	
15	坂井市シニアクラブ連合会	副会長	廣井 富美子	

3. 策定経過

年度	月日	経過	摘要
令和 6 年度	3月6日 ～ 3月26日	市民満足度調査	坂井市在住の18歳以上の市民5,000人を無作為抽出にて実施、回答率28.42%
	6月11日	第1回第二次坂井市総合計画後期基本計画策定幹事会	策定体制、スケジュールの検討、人口ビジョン、市民満足度調査結果の説明
	6月14日	第1回坂井市総合計画審議会	委嘱、趣旨説明、諮問 策定体制、スケジュール、人口ビジョン、市民満足度調査結果の説明
	9月12日	第2回第二次坂井市総合計画後期基本計画策定幹事会	前期基本計画の振り返り、後期基本計画素案の検討
	9月20日	第2回坂井市総合計画審議会	前期基本計画の振り返り、後期基本計画素案の審議
	10月7日	議会（定例協議会）	後期基本計画素案の提示、説明
	10月24日	第3回第二次坂井市総合計画後期基本計画策定幹事会	後期基本計画原案の検討
	11月1日	第3回坂井市総合計画審議会	後期基本計画原案の審議
	12月17日	第4回第二次坂井市総合計画後期基本計画策定幹事会	後期基本計画最終案の検討
	12月20日	議会（全員協議会）	後期基本計画最終案の提示、説明
	12月25日	第4回坂井市総合計画審議会	後期基本計画最終案、答申文案の審議
令和 7 年度	1月17日 ～ 1月31日	パブリックコメントの実施	意見1件
	2月17日	第二次坂井市総合計画後期基本計画（案）答申	
	3月21日	議会議決	

## 4. 市民ワークショップ「幸福実感 まち未来トーク」の詳細

## 1. 実施日・実施場所について

開催日	コミュニティセンター	参加者数(人)
6月7日(金)	高棕東部コミュニティセンター	34
7月13日(土)	のうねの郷コミュニティセンター	30
7月20日(土)	鳴鹿コミュニティセンター	29
8月9日(金)	竹田コミュニティセンター	24
8月10日(土)	東十郷コミュニティセンター	22
8月17日(土)	磯部コミュニティセンター	27
8月18日(日)	兵庫コミュニティセンター	22
8月21日(水)	江留上コミュニティセンター	29
8月23日(金)	浜四郷コミュニティセンター	39
8月24日(土)	三国木部コミュニティセンター	18
9月7日(土)	春江中コミュニティセンター	13
9月28日(土)	新保コミュニティセンター	27
12月1日(日)	城のまちコミュニティセンター	49
12月7日(土)	高棕コミュニティセンター	23
12月14日(土)	大石コミュニティセンター	20
1月20日(月)	坂井木部コミュニティセンター	44



写真 ワークショップの様子

2. ワークショップの詳細

(1) グループワーク 1 「地域の中で感じるポジティブな感情」について

■実施方法

1 グループ 5～6 名に分かれ、グループ内で自らの地域の中で感じる「ポジティブな感情 (=強み)」と「ネガティブな感情 (=弱み)」について、ワークシートを活用し話し合う。

■目的

参加者が自分の地域の強みと弱みを、その場面と感情を想起することで地域イメージを可視化しグループ内で共有する。

■ワークシート

<h2 style="margin: 0;">ワークシート</h2>				氏名: _____			
わたしが、well-beingを感じる地域のイメージ(3つ選んでみよう)				わたしが、well-beingを感じない地域のイメージ(3つ選んでみよう)			
うれしい	楽しい	安心する	ゆったり	不安	悲しい	イライラする	腹が立つ
リラックス	わくわくする	気持ちいい	快適	緊張する	自信が持てない	辛い	嫌気がさす
和やか	安らぎを感じる	愛おしい	大好き	疲れる	怖い	心細い	危険
誇らしい	自信がもてる	あたたかい	感動する	落胆する	さみしい	つまらない	はずかしい
落ち着く	心強い	信頼できる	元気がわく	誇りが持てない	くだらない	暗い	孤独
平和	希望がもてる	勇気がわく	コミットメント	希望が持てない	きゅうくつ	がっかりする	自己中心
具体的には…どんな場面で、なにがどのように？				具体的には…どんな場面で、なにがどのように？			



## (2) グループワーク2 「5年後・10年後の地域を考える」について

## ■実施方法

グループワーク1で出てきた地域の強み弱みについて、市民満足度調査結果と課題解決型地域づくりのための坂井市独自のウェルビーイング8指標を用いた表を活用して話し合う。

## ■目的

理想の地域の将来像を実現するためには、地域の強みや弱みをどうしていくかを考えることで、5年後・10年後の地域と市民自らと地域との関わり方について考える。

## ■ワークシート

ワーク2 (well-beingの8指標で近未来の地域&生き方を考える) 地域の「強みを伸ばし、弱みを解決」			
1.自己実現できる	2.誇らしく思える	3.自分らしくいられる	4.安全で安心できる
強みを伸ばすために	強みを伸ばすために	強みを伸ばすために	強みを伸ばすために
弱みを解決するために	弱みを解決するために	弱みを解決するために	弱みを解決するために
5.楽しくわくわくできる	6.希望をもって暮らせる	7.助け合える	8.互いを尊重できる
強みを伸ばすために	強みを伸ばすために	強みを伸ばすために	強みを伸ばすために
弱みを解決するために	弱みを解決するために	弱みを解決するために	弱みを解決するために

(3) ワークショップ意見 (一部)

ワーク2 (well-beingの8指標で近未来の地域&生き方を考える) 地域の「強みを伸ばし、弱みを克服」<sup>3班</sup>

1.自己実現できる	2.誇らしく思える	3.自分らしくいられる	4.安全で安心できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>飲食店と お祭りに</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>子ども イベント 祭りを 活用し ワークショップ 開催</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>田んぼや 田舎生活</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>希望を持って暮らす</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>公園を 拠点に お祭りや ワークショップを 開催する</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>区ごとに 三田川沿い マラソン マーカー つくる</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>顔見知り お祭り お祭りに 参加する</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>歩きやすい 安全な道</p>
5.楽しくわくわくできる	6.希望をもって暮らせる	7.助け合える	8.互いを尊重できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>楽しく 暮らす イベント</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>スポーツ 大会を開催 する</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>希望を持って 暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>地域活動 に関与 してもらう</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>近所づき 合い 交流イベント</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>様々な 年代の人 集まる場 をつくる</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>高齢者 イベント 若者の 参加</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>世代 横断的 交流</p>

ワーク2 (well-beingの8指標で近未来の地域&生き方を考える) 地域の「強みを伸ばし、弱みを克服」<sup>3</sup>

1.自己実現できる	2.誇らしく思える	3.自分らしくいられる	4.安全で安心できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>みんな(金世代)は来えまぢつてり</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>
5.楽しくわくわくできる	6.希望をもって暮らせる	7.助け合える	8.互いを尊重できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>希望を持って暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>女性の 実質的 収入向上</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>弱みを解決するために</p>

ワーク2 (well-beingの8指標で近未来の地域&生き方を考える) 地域の「強みを伸ばし、弱みを克服」<sup>7班</sup>

1.自己実現できる	2.誇らしく思える	3.自分らしくいられる	4.安全で安心できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>自分の 思いを実現 させる</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>希望を持って暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>自分らしく 暮らす</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>自分らしく 暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>安全で安心 できる</p> <p>弱みを解決するために</p>
5.楽しくわくわくできる	6.希望をもって暮らせる	7.助け合える	8.互いを尊重できる
<p>強みを伸ばすために</p> <p>楽しく 暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>高齢者 世代 の交流</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>希望を持って暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>自分らしく 暮らす</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>自分らしく 暮らす</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>高齢者 世代 の交流</p>	<p>強みを伸ばすために</p> <p>安全で安心 できる</p> <p>弱みを解決するために</p> <p>高齢者 世代 の交流</p>

## 3. 参加者の意見一覧（一部）

	意見
1	この地域にある問題を知れてよかったです。こういう話し合う機会の問題を知ることができて、私も問題解決に向けてできることがあれば力になりたいと思いました。地域の人たちと話し合うことができてよかったです。
2	開始前に比べて、自分の地区に対する関心が高まった。地区に対する若い人たちのしっかりとした意見を聞いてうれしかった。
3	ルールに従うだけでなく、自分の意見を持つのは大事だと感じた。いろんな人（年齢）の意見を聞くことができた。
4	皆さんの地域を良くしていきたいという気持ちが意外に強いと感じた。（特に若い人も地域を愛しているのだと感じた）。今後もさらに若者を取り入れる行事（家族ぐるみの参加）を考えていければと思う。まだまだ未来は暗くない。明るい未来を想像できた。
5	開始前はまちづくりに対して全くと言っていいほど無関心だったのが皆さんの意見等を聞いて自分自身も町づくりに取りくもうと思いました。
6	始めはなかなかまわりの人と話が出来なかったがなれてくると、世代の違った人でも楽しく話も出来た。こういった機会が増えることで、仲間が出来て、自分たちの地域にも愛着がわき、住みやすい地域にしたい気持ちが強くなっていくのではと思った。
7	少し地域の事業に参加してこれからも頑張っていきたいと思います。このままで十分に幸せです。
8	他者の意見を聞くことで、思いの外、多くの方々が地域について興味を持ち、活動しているということが分かった。この街に住んでいる人々に少し親近感がわいた。
9	なかなか幸せを口にして発する事は出来ないけれど、なにげない思い出等で、ああ今思えば幸せだったなと思う事。幸せはほんとうに童話青い鳥みたいで足元にあるのかもしれないと思う。
10	地域での関係やつながりをもっと増やしていきたい。世代間でのつながりをもっと増して行けるような地域となってほしい。
11	自分の子どもたち世代が大きくなって住みやすいと思ってもらえるように維持・努力したいと思った。
12	市からの問題提起、工夫が必要（観念的である）。
13	このような会合はとても大事。回を重ねることで参加者も慣れてくるし、よりよい意見がでてくることと思います。
14	地域の住民同士のつながりが大事だと感じた。自己中心的な考えではなく困っている誰かのために自分には何が出来るのか、それを実現するためには、市等の大きな組織によるどういう助けが必要かを改めて考えたいと思った。
15	若い人や子どもたちがまちについての場に参加したり、イベントに参加したりすることで、大人になった時に、ここに住みたいと思える一歩になるという意見があった。地域の行事などに参加してもらえるような、参加したいと思えるような地域になると

	意見
	いいと思った。
16	若い世代の意見を取り入れていけるようにしたい。こういう場があれば、できるだけ参加しようかな・・・と思った。
17	近所の方と、もう少し関わりを深めたい（困った時にお互いに助け合える関係性をつくれるように）。
18	若者も参加できる場所や意見を広げていきたい。
19	自分の子どもにももっと地域のことを考えてもらえる様にしていきたい。
20	子どもも含めて様々な立場の方々が交流できるような、また、まちづくりについての考えを交換できるような場の設定のお手伝いができる・・・かも？
21	ご年配の方から子どもまで、平和・安心できる地域にしていきたい。
22	地区の問題点について、皆さんが同じような考えを持っていると思ったので、同じ方向で地区が良くなるような活動をしていけるのではないかと思った。
23	これからもできればずっと住みつづけたいと思う地域だからこそ、意見を言い合い参加したいと思っています。
24	普通に生活していたが改めて考えさせられた時間でした。
25	やっぱりみなさんと話していると、少しずつなやみがあることが分かりました。なので、未来をよくするためにできることなどを考えていきたいです。
26	地域の幸福度を高めるには、一人ひとりの幸福度を高めることが基本だと気づいた。他人に対して思いやりを持つこと、そのために自分が幸福であることです。
27	楽しいこと、わくわくすることがなくても住むためだけの地域であっていいとの意見があった。本当にそれでいいと思う。
28	今回のようなトークに参加するメンバーはどうしても同じ人が参加する形になってしまう。いろんな人に興味を持ってもらい、参加してもらえるよう工夫が必要だと思う。
29	若い方が少ないので、その方を大切に地域に入れていくことが大切だということ。女性の活躍を促す場を作る必要があるということ。
30	自分の個性を発揮できていないという資料を見て、これからは個性を発揮できるようなまちにしたいなと思いました。
31	少しでも地域のことに参加できれば参加していきたい。楽しいこと、幸せなことを増やしていきたい。
32	まずは、自分を豊かにしつつも周りの方への声かけや地域の行事に参加すること、人と人とのつながりを大切にしていくことです。
33	地域に関わりながら過ごしてゆきたい。ポジティブに考え、地域に愛着を持ちながら今後を暮らしてゆきたい。
34	様々な視点があることを知り、行事等に参加するときもそれぞれの視点に立って自分ならどうするか、どんな貢献ができるか考えたい。
35	むずかしすぎる。何かを変えていくのにはあまり賛成できない。

	意見
36	人同士のつながりが良さでもあり、負担でもあると感じている人が多いが、負担と思わずポジティブに考えられるようにするためにどうすれば良いか考えたい。
37	のびのびと子育てがしたいと人が県外や海外から集まる福祉の充実したまち。安全という認識が高まり住みたい人が増えてほしい。
38	人口減でマイナス面も表面化すると思うが、プラス面も何か期待できます。
39	女性の意見、若い方の意見をきいてくれ、地区・各種団体がそれに対し、みんなで考えてくれるようになってほしい。
40	あまり変化していないでほしい。交通面などは充実してほしい。
41	人が減っているので「できること」と「できないこと」がはっきりしてくると思います。
42	“幸福実感”ということ考えたことがなかったので、考えるキッカケをいただきました。
43	一人ひとり、年代関係なく地域に貢献したい、かかわりあいたいと思うあつい思いがあるのを実感した。
44	行政への協力をいただきたい。
45	普段の交流があるところに未来がひらかれる。
46	地区ごとに交通安全や防災に気を使っている。
47	一から自分たちで地域のために考えて作り上げていくことができる、ということがわかったから。楽しそうな未来が見えた。
48	自分だけじゃ気づけなかったことや、初めて分かったことがたくさんあったし、未来についてもっと向き合っていこうと感じました。
49	地域の強みや弱みを見直せた。意見の言える場も必要だと気づいた。
50	地域のためにできることを人任せにするんじゃなくて自分から積極的にするようにしたい。
51	これから少子化や高齢化社会という問題を抱えていく上で、地域の未来を考えていくということが大切だと感じます。
52	若い世代の意見を出す場もそうだけど、年を重ねた方が活動できる場もほしいという意見は納得。その世代にしか出てこない意見ってあるので、今日は参加できてよかった。
53	女性進出！何か私にできること、機会があったときにはチャレンジしたい！
54	今地域で何が求められているか何が必要かを考え、一つずつでも求められているものを実現化できるよう努力、協力していきたい。
55	まちを作ってきた、支えてきた人から若い人への世代交代がうまくいっていない。
56	通常の生活の中で未来なんて考えることがなかった。
57	若い世代の方がどのように考えているのか意見が聞けてよかった。自分のことと言うと、高齢になって車に乗れなくなった時、買い物等で困らないようなまちであって欲

	意見
	しいです。
58	若者の意見がなかなか届かないというのを聞いて、はっとさせられた。
59	子どもがここで将来的に戻って来たいと思える地域にしようと思う。
60	若い人の発言をまちづくりに取り入れることが重要であると思うのですが、その体制に持っていくことがとても難しい。
61	強みは無理に伸ばさなくても良いのではないかと、弱者に声かけしハードルを低くすることで結果伸びてくるのではないかと思う。
62	仕事や家庭のことでなかなか忙しく地域づくりにまで手が回らなかったが今回いろんな世代で話をしてみて、いろんな気づきや楽しさに気づけました。
63	今日のことでもっと話し合っ、未来のことを考えていかないといけないんだなと思いました。もっと協働して未来につなげて、皆で頑張ろうと思いました。
64	自分が住んでいる地域に自信と誇りをもって物事に携わっていきたいと思いました。
65	特になかった。テーマが見えなかった。
66	地域を良くしようと思っている人がたくさんいるけど、行動に移せないところがある。
67	楽しく、皆が集える場所を求めているんだなと思いました。三世代、地域のつながりは強いと思いました。
68	これからの地区作りがどうなっていくのか関心が湧きました。
69	地域のつながりの重要性はよくわかったが、実際どう一歩踏み出せばいいのか、その壁が難しいなと感じました。
70	多様な意見、考えを共有できて学びがあった。考えているうちに新たな考えも出てきて楽しかった。

## 5. 坂井市総合計画に関連する各種計画

計画	計画期間	基本計画内で掲載のある節
第2次坂井市男女共同参画推進計画	令和3年度～令和12年度	1-1, 1-4, 5-4
坂井市観光ビジョン戦略基本計画	平成31年度～令和7年度	1-4, 5-3
坂井市中期財政計画	令和7年度～令和11年度	1-5
第四次坂井市行政改革大綱	令和7年度～令和11年度	1-5
第四次坂井市行政改革大綱実施計画	令和7年度～令和11年度	1-5
第四次坂井市定員適正化計画	令和7年度～令和11年度	1-5
坂井市ICT活用推進計画	令和7年度～令和11年度	1-5, 6-7
第3次坂井市福祉保健総合計画	令和3年度～令和8年度	2-1, 2-2, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7
第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画	令和5年度～令和6年度	2-2
(仮称)坂井市こども計画	令和7年度～令和11年度	2-2
第二次坂井市教育振興基本計画	令和3年度～令和12年度	2-2, 3-1
第3期坂井市国民健康保険データヘルス計画・第4期坂井市特定健康診査等実施計画	令和6年度～令和11年度	2-7
坂井市文化財保存活用地域計画	令和4年度～令和13年度	3-3, 5-3
重要文化財(建造物)丸岡城 天守保存活用計画	-	3-3, 5-3
坂井市スポーツ推進計画	令和3年度～令和12年度	3-4
坂井市スポーツ施設マネジメント計画	令和3年度～令和12年度	3-4
第二次坂井市環境基本計画	令和3年度～令和12年度	4-1
坂井市脱炭素ロードマップ	令和6年度～	4-1
第二次坂井市一般廃棄物処理基本計画	令和2年度～令和11年度	4-2
坂井市景観計画	-	4-4
坂井市景観づくり基本計画	-	4-4
坂井市歴史的風致維持向上計画	令和6年度～令和15年度	4-4, 5-3
坂井市森林整備計画	令和3年度～令和12年度	5-1
坂井市中小企業振興計画	平成27年度～令和6年度	5-2
丸岡城周辺整備基本計画	-	5-3
東尋坊再整備基本計画	-	5-3
三国グランドビジョン	-	5-3
坂井市地域公共交通計画	令和3年度～令和7年度	5-3, 6-6
坂井市地域防災計画	変更があればその都度見直し	6-1
坂井市国土強靱化地域計画	令和3年度～令和7年度	6-1

計画	計画期間	基本計画内で掲載のある節
坂井市国民保護計画	変更があればその都度見直し	6-1
坂井市災害廃棄物処理計画	令和6年度～	6-1
第2次坂井市空家等対策計画	令和6年度～令和10年度	6-3
坂井市都市計画マスタープラン	～令和12年度	6-3
坂井市住宅マスタープラン	平成20年度～平成29年度	6-3



## 6. 第二次坂井市総合計画後期基本計画 用語集

※1	国立社会保障・人口問題研究所	厚生労働省に所属する国立の研究機関。人口や世帯の動向を捉えるとともに、国内外の社会保障政策や制度について研究を行い、政策形成に資する基礎的な情報提供等を行う。
※2	人口置換水準	長期的に人口が安定的に維持される合計特殊出生率の水準のこと。
※3	超高齢社会	65歳以上人口の割合が全人口の21%以上を占めている社会のこと。
※4	こどもまんなか社会	全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人として等しく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会のこと。
※5	レジリエンス	困難をしなやかに乗り越え回復する力のこと。
※6	国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）	大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「国連気候変動枠組条約」に基づき開催された会議のこと。
※7	パリ協定	COP21で採択された協定のこと。2020年以降の温室効果ガス排出削減の国際的枠組みを定め、地球の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することを目標としている。
※8	GX（グリーン・トランスフォーメーション）	温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組みのこと。
※9	I o T	Internet of Thingsの略。「モノのインターネット」と呼ばれ、自動車、家電、ロボット、施設等のあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。
※10	A I	Artificial Intelligenceの略。人工知能のこと。
※11	R P A	Robotic Process Automationの略。ロボットによる業務の自動化のこと。

※12	ビッグデータ	人間では全体を把握することが困難な巨大なデータ群のこと。
※13	DX (デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術の活用を通して生活やビジネスを変革すること。
※14	デジタルデバイド	情報通信技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生まれる経済格差のこと。
※15	5R	Refuse (断る)、Reduce (減らす)、Reuse (繰り返し使う)、Repair (修理して使う)、Recycle (資源として再利用する) のこと。
※16	都市機能増進施設	医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉や利便性の向上を図るために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもののこと。

## 7. SDGs（17の目標）の視点に基づく第二次坂井市総合計画の施策体系

### （1）SDGsとは

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、平成27年（2015年）9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年までの国際目標のことであり、持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲット（より具体的な目標）から構成され、「誰一人取り残さない（no one will be left behind）」という共通理念を掲げています。

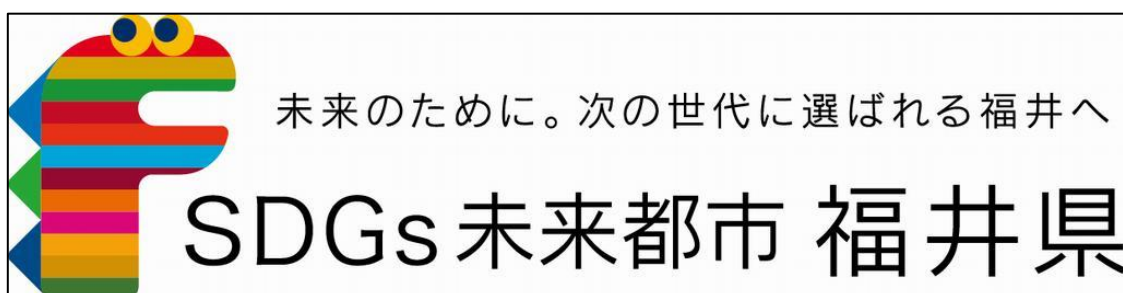
SDGsは、発展途上国のみならず、先進国も含めて世界中の国や地域が取り組むべき目標であり、私たち一人ひとりが達成に向けて主体的にアクションすることが求められています。



### （2）SDGs未来都市

令和3年（2021年）5月、福井県は「次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現」をテーマにした提案が認められ、内閣府の「SDGs未来都市」に選定されました。

「福井の未来を担う次世代の育成」を中心に位置づけ、経済・社会・環境の好循環を生み出し、持続可能な地域となることを目指しています。



章	基本構想	基本計画				
			1	2	3	4
			貧困	食糧	健康福祉	教育
1	みんなで未来につなぐまちづくり【共生・協働】	1 誰もが暮らしやすい共生社会の推進				
		2 多様な主体と連携した協働のまちづくりの推進				
		3 国際・都市間交流の推進				◎
		4 関係人口の拡大と住みよさの実感				
		5 効率的な行財政運営の推進				
2	互いに思いやり支え合うまちづくり【福祉】	1 地域福祉の充実	○		◎	
		2 児童福祉の充実	○		◎	○
		3 高齢者福祉の充実			◎	
		4 障がい者福祉の充実			◎	○
		5 健康づくりの推進		○	◎	
		6 地域医療体制の充実			◎	
		7 社会保障制度の安定的な運営	◎		◎	
3	学ぶ意欲を支えるまちづくり【教育】	1 学校教育の充実				◎
		2 社会教育・生涯学習の充実				◎
		3 歴史・文化・芸術の伝承と振興				◎
		4 生涯スポーツの振興			○	◎
4	自然と共生できるまちづくり【環境】	1 自然環境の保全と共生				
		2 循環型社会の構築				
		3 生活環境の保全と充実			○	
		4 美しい景観資源の活用				
5	地域資源を活かし活力を創造するまちづくり【産業】	1 農林水産業の振興		◎		
		2 商工業の振興				
		3 観光の振興				
		4 働く環境の充実				
6	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり【都市基盤】	1 災害に強いまちづくりの推進				
		2 安全・安心対策の充実				
		3 住環境の整備				
		4 安定した水の供給と良好な水環境の維持				
		5 暮らしを支える道路網の整備				
		6 地域公共交通と広域交通ネットワーク拠点の充実				
		7 情報ネットワーク社会の構築				





## 第二次坂井市総合計画後期基本計画

輝く未来へ・・・みんなで創る希望のまち  
～子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～

---

発行 令和7年3月  
編集・発行 坂井市総合政策部企画政策課  
〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄 1-1  
TEL 0776-50-3013 FAX 0776-66-2935  
E-mail kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp  
URL <http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>

## 坂井市民憲章

彩り豊かな海・山・川と市民が融和する坂井市

大空へ伸びる緑の木々のように 希望に満ちたまちの実現に向けて  
ここに市民憲章を定めます

一 青い日本海のすがすがしさ

自然と住みよい環境に恵まれた 坂井

一 白いユリのやさしさ

人々のきずなど安心が広がる 坂井

一 黄金波こがね打つ平野の温もり

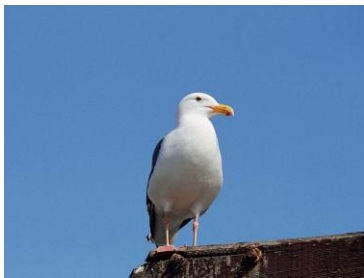
感謝と思いやりの心を育む 坂井

一 桜に浮かぶ古城の気高さ

誇りある歴史と文化が息づく 坂井

一 真っ赤な太陽の輝き

明るい笑顔と活力があふれる 坂井



### ■市の鳥 カモメ

カモメ科の冬鳥。海や港町をイメージさせる鳥であることから、市が海に面していることが感じ取れます。晩秋の頃オホーツク海北部から飛来し、餌を求めて飛び交う姿は、三国港の冬の風物詩として親しまれています。



### ■市の木 サクラ

バラ科の落葉樹。春を象徴する花木として、日本人に古くから親しまれています。「霞ヶ城公園」は『日本さくら名所100選』に指定されており、4月には「桜まつり」が開催され、市民の憩いの場として賑わっています。



### ■市の花 ユリ

ユリ科の多年草。純潔・威厳・無垢の象徴とされ、清楚で気品ある花として親しまれています。「ゆりの里公園」では栽培も行われており、6月になるとユリ科の花が華麗に咲き誇り、多彩なイベントが開催されています。



## らしさ、かがやく。

好きにまっすぐ。このまちで広がる未来。

学校の外に飛び出し、まちを知る高校生がいる。  
受け継がれた祭りやものづくりを支え、伝える職人がいる。  
海や山、田畑で汗を流し、豊かな食を届ける生産者がいる。  
まちの歴史や宝を未来につなぐ、地域の先導者がいる。  
遠くからふるさとを思い、夢に向かう人たちがいる。

福井の北にある坂井市は、  
自然の雄大さと都市のにぎわいが調和するまち。

仕事、学び、子育て、遊び  
多様な文化や好奇心が生まれる人との出会いで  
どんなものにだってなれる。  
どんな生き方だってできる。

いくつになっても、らしくいられるまち。  
それが坂井市です。

